

種名	ウ ツ ボ グ サ Prunella vulgaris 			
	分類	双子葉植物ナス目シソ科	生活型	多年草
分布	北海道～沖縄。サハリン、千島、朝鮮、中国、東アジア温帯に広く分布			
形態	茎は高さ 20～40 cm、4 稜あり、上向する毛を密生する。葉はひし形状長卵形～長楕円状披針形、長さ 2.5～7cm、幅 1～3 cm、葉面に多細胞の毛を密生し、低平な鋸歯があるが全縁状。花穂は茎頂に 6～8 月頃でて、おうぎ状の苞に 3 花ずつが包まれ、花は長さ 1.5 cm、2 唇形をなし、上唇はかぶと状に伸長し、下唇は舌状で 3 裂し、中片に歯牙がある。花後基部よりつるを伸長する。2 強雄ずい。花穂は枯れると黒変する特性がある。 分果は長さ 1.6 mm、黄褐色で光沢がある。			
類似種				
生息場所	野原や山の向陽地に生える。			
繁殖				
他生物との関係				
配慮のポイント				
引用文献：『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物 双子葉植物』を改変				